

平成28年度

島根大学大学院生物資源科学研究科修士課程（第2次）

環境資源科学専攻

入試問題

【小論文】

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2 ページ、解答用紙 2 枚、下書き用紙 2 枚である。
指示があってから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

①は共通問題(必修)、②は専門問題(選択)です。②については1問を選んで解答しなさい。なお解答用紙の選択問題番号に丸印をつけなさい。

① 共通問題 (全員必ず解答しなさい)

環境資源科学専攻は、自然と人間が真に共生しつつ物心ともに豊かな21世紀型社会の実現に向けて、生活環境、生産環境および自然環境を構成する様々な資源(水、大気、土壌、エネルギー、施設、機械、情報、動物、植物、微生物等)に関する学術、産業、教育、地域文化等に貢献できる“プロフェッショナル”の輩出を目指しています。本専攻で自身が行うと考えられる研究が、環境面や資源面でどのように社会に貢献できるか、予測される研究成果と現存する環境問題・資源問題を関連づけて説明しなさい。

2 専門問題（下記の2問のうちから1問を選んで解答しなさい。また、解答用紙に記載された問1～2のうちの、選択した問の番号に丸印をつけなさい。）

問1

土壌中の窒素または硫黄の循環において、微生物間の協調的な相互作用により進行するプロセスの例を挙げ、それに関与する微生物の特徴およびそれらの間の相互作用の仕組みについて説明しなさい。

問2

流域下流に位置する宍道湖の水環境は環境省が定める環境基準を長年満たしていない。宍道湖の水環境について、流域水文学(水・物質循環)や農業工学(営農活動)等の視点からそれとの関連性を述べ、水環境改善に向けた方策について論じなさい。

(問題は以上です。)